

R6年度事業名	ユーカルさばえ各種講座運営事業
R5年度事業名	ユーカルさばえ各種講座運営事業

総合戦略体系	344	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
--------	-----	--------------------------------	------------------	-----------

PLAN計画	部署名	生涯学習課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	若者が教養を深め交流を図るための講座を開設し、青少年の健全育成を図る。					
	概要	青少年を対象に教養講座を開設。料理、生花、書道（ペン習字・細筆）、抹茶、エアロビクス等の講座を行い、そのほか若者が望んでいるその時々課題とニーズに応じた特別講座を行う。					
	法令等根拠	青少年の雇用の促進等に関する法律（H27.10.1改正）	実施形態	内容	市の職員が講座の企画、運営について事務を行っている。		
	現在	市直営					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	教養講座開講数		回	目標値	400	300	300	350	400
				実績値	253	479	531	516	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	教養講座受講者数		人	目標値	5,000	2,900	5,000	5,000	5000
				実績値	2,537	5,051	6275	6642	
	計算 根拠	年間延べ講座受講者数	達成率	50.7	174.2	125.5	133		
			実数値						
			ランク	C	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,330	1,330	1,514	1,511	1,511		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,050	1,148	1,325	1,499	1,511		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	15	202	各種講座等運営費	4,051	1,511
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,511

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	0.75
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☐ ない ☒ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	広報等によるPR・情報発信により、認知度アップと更なる利用促進を図りながら、若者団体や若者育成団体との連携交流を進める。青少年のニーズの把握に努め、外部団体等(県内外の青少年グループやエコネットさばえ等)との連携による事業展開を図る。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	ユークルフェスタについては、感染症防止のため半日のみでの実施となった。講座等は概ね計画通り開催し、受講者数の目標値は達成できた。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	昼間の時間帯の利用促進、青年団等の若者団体や若者の育成を目的とする社会教育団体との連携交流が課題である。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	これまでの活動を踏まえた上で、勤労青少年の福祉を増進するため、利用者の意見や要望を聞きながら、時代に即した多様な取り組みを支援するため事業補助を行っていく。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	公民館各種学級運営事業
R5年度 事業名	公民館各種学級運営事業

総合戦略 体系	344	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	--------------------------------	------------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	生涯学習課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	地域の実情や特性を考慮した家庭教育、女性支援等による学級・講座を実施し住民の学習ニーズに応え、地域教育力の向上、充実を図る。					
	概要	地域住民の家庭教育、女性支援事業、環境教育、人権教育等の学級・講座を開催し教育力の向上に努める。					
	法令等 根拠	社会教育法	実施 形態	内容	公民館主催の各種学級・講座の企画・運営。		
	現在	市直営					

D

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
生涯学習講座・学級開催数(新講座を含む) ※～2021年度	回	目標値	100					
		実績値	148					
生涯学習講座・学級開催全数(新講座を含む):統合により ※2022年度～	回	目標値		200	200	300	300	
		実績値		335	362	398		
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
生涯学習講座・学級利用者数(新講座を含む) ※～2021年度	人	目標値	12,000					
		実績値	8,944					
計算 根拠	年間利用者数	達成率	74.5					
		実数値						
生涯学習講座・学級利用者全数(新講座を含む):統合により ※2022年度～	人	目標値		40000	40000	40000	40000	
		実績値		22809	27574	40273		
計算 根拠	年間利用者数	達成率		190	229	100.7		
		実数値						
			ランク	C	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	4,345	3,957	5,943	6,062	5,757		事業タイ	単独事業
	決算額	2,175	2,441	3,843	4,720	4,972		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	2	202	各種学級運営費	5,632	5,757
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	5,757

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	1.7
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				効率性 改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☒ 節減できている ☐ 横ばい ☐ 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ				
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み				
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある				
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定	有効性 財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
13	0点～8点 9点～16点	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善	維持または事務改善	

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	市民一人一人の学習意欲の高まりやニーズに応え、多様な学習メニューを提供するとともに、ICTの活用等による開かれた学習機会の提供に努める。また、各種学級等においては地区住民はもとより、市内すべての地区から参加できるようPRに努め、講座内容および周知方法についても工夫を図っていく。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	地域の実情に合わせた地域の教育力の向上に向けた講座を開催し、地域住民同士が学びあうことにより、公民館を生涯学習およびまちづくり推進の拠点施設として充実を図った。また、地区住民はもとより、市内すべての地区から参加できる事業を追加し、PRにつとめた。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	令和5年度は、概ね講座等が実施できた。令和6年度において市民の「学びと実践活動の機会を広げる」「教育の質を高める」といった観点から、社会教育・生涯学習の推進を実施していく必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	地域の実情や特性を考慮した学級、講座を開催し、教育力の向上を目指していくとともに、人生100年時代を見据え、新しい社会教育・生涯学習推進に取り組んでいく。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	連合青年団活動費補助金
R5年度 事業名	連合青年団活動費補助金

総合戦略 体系	341	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生きがいづくりと社会参加活動への支援
------------	-----	--------------------------------	------------------	--------------------

P L A N 計 画	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	定例会、PRチラシの発行等を通して青年活動を高め、団結力を強めながら地域の活性化を図る。				
	概要	研修、若越大会、他団交流研修のほか、はたちのつどい実行委員会などに青年団として参加し、若者の顔が見える事業に協力するなど、青年団活動に対し事業補助を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	補助金申請、実績報告のみの事務。	
	現在	補助金等交付				

活動指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難				目標値					
				実績値					
成果指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
リーダー研修会の開催・参加 ※2022年度まで			回	目標値	2	2			
				実績値	2	2			
計算 根拠				達成率	100	100			
				実数値					
社会教育活動等の開催・参加 ※2023年度から			回	目標値			4	4	4
				実績値			4	4	
計算 根拠	保育園お泊りキャンプ、サンタ宅配便開催、はたちのつどい実行委員会サ ポート事業ほか			達成率			100	100	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	270	240	240	240	240		事業タイプ	単独事業
	決算額	140	135	124	173	202		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,755	240
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	240

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	連合青年団として勤労青少年を中心とした若者同士の交流・団結および各地区青年団活動の活発化の促進を図るとともに、はたちのつどい実行委員会メンバーに対するサポート支援など本市事業に対する協力など、積極的な活動を支援するために事業補助を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	コロナ禍による活動制限がありながらも、連合青年団として社会参加・貢献を目指し、勤労青少年を中心とした若者同士の交流・団結および各地区青年団活動の活発化の促進を支援するため、事業補助を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	鯖江商議所青年部、鯖江青年会議所(JC)などとの連携活動や、本市社会教育委員への参画など、様々な場面で活動拡大していく中において、継続的に活動を支援するための事業補助が必要である。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	これまでの活動を踏まえた上で、時代に即した多様な取り組みを支援するため事業補助を行っていく。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	連合女性会活動費補助金
R5年度事業名	連合女性会活動費補助金

総合戦略体系	341	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生きがいづくりと社会参加活動への支援
--------	-----	--------------------------------	------------------	--------------------

PLAN計画	部署名	生涯学習課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	家庭や地域で女性の役割を認識し、豊かなふるさとづくりに努める。					
	概要	女性の社会活動として交通安全、食育学習、ごみ問題などに取り組んでいる。社会学習活動および組織強化活動等に対し事業補助を行う。					
	法令等根拠		実施形態	内容	補助金申請、実績報告書のみの事務。		
	現在	補助金等交付					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	独自事業の開催		回	目標値	6	6	6	6	6
				実績値	7	7	7	7	
	計算根拠	文化講演＆会員のつどい、防災リーダー研修会(防災学習会)、セミナー・食べきり学習会、バレーボール大会、新年のつどいなど	達成率	116.7	116.7	116.7	116.7		
			実数値						
				ランク	A	A	A		
	前年度ランク								
	B、Cの理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	600	540	540	540	600		事業タイプ	単独事業
	決算額	531	540	540	540	600		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,755	600
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	600

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	地域の女性の役割を認識し、女性会独自事業や関係団体との連携事業を実施していく。市のSDGs推進の中軸となる「女性が輝くまちさばえ」を意識した事業展開ができるよう、市は補助金を交付する中で支援していく。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	社会活動として交通安全、食育学習、ごみ問題などに取り組んでいる女性会に、社会学習活動および組織強化活動等に対する事業補助を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	地域の女性の役割を認識し、女性会独自事業や関係団体との連携事業を実施していく。市のSDGs推進の中軸となる「女性が輝くまちさばえ」を意識した事業展開ができるよう、市は補助金を交付する中で支援していく。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	これまでの活動を踏まえた上で、時代に即した多様な取り組みを支援するため事業補助を行っていく。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	PTA連合会活動費補助金
R5年度 事業名	PTA連合会活動費補助金

総合戦略 体系	341	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生きがいづくりと社会参加活動への支援
------------	-----	--------------------------------	------------------	--------------------

P L A N 計 画	部署名	生涯学習課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市内各単位PTA相互の連携を密にし、親と子の望ましい関係づくりと次代を担う青少年の健全育成を目指し、その方途を思慮して企画実践し、青少年教育の一層の充実を図る。					
	概要	家庭での食育、安全安心、家庭教育力の向上などに取り組んでいる。社会学習活動および組織強化活動等に対し事業補助を行う。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	補助金申請、実績報告書のみの事務。		
	現在	補助金等交付					

活動指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
各単位PTA会長会の開催（～2021年度）		回	目標値	3				
			実績値	3				
計算 根拠			達成率	100				
			実数値					
連合会が実施した事業数（2022年度～）		回	目標値		4	4	5	5
			実績値		7	7	7	
計算 根拠	定期総会、福井県PTA連合会年次総会、県P丹南ブロック地区別研修会、 社会を明るくする運動、市P連ソフトバレーボール大会、子育て講演会、教育 委員会教育長と語る会		達成率		175	175	175	
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	180	160	160	250	180		事業タイプ	単独事業
	決算額	180	160	160	250	180		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,755	180
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	180

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)
	1			
	2			
	3			
	4			
	5以降			
		合計	0	

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	親と子の望ましい関係づくりと次代を担う青少年の健全育成を目指し、市内各単位PTA相互の連携ならびに青少年健全育成鯖江市市民会議との連携を密にし、青少年健全育成のより一層の充実を図るために事業補助を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	家庭の教育力向上および社会学習活動ならびに組織強化活動を推進するための事業補助を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	子どもを取り巻く環境は変化が激しく、予測が困難な時代である。親と子の望ましい関係づくりと次代を担う本市青少年の健全育成を目指し、より一層活動の充実を図っていくため支援が必要である。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	これまでの活動を踏まえた上で、時代に即した多様な取り組みを支援するため事業補助を行っていく。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	壮年グループ連絡協議会活動費補助金
R5年度事業名	壮年グループ連絡協議会活動費補助金

総合戦略体系	341	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生きがいづくりと社会参加活動への支援
--------	-----	--------------------------------	------------------	--------------------

PLAN計画	部署名	生涯学習課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	社会の中核である壮年会の活動を活性化し、豊かな地域づくりを促進する。					
	概要	壮年グループ連絡協議会の活動費の補助を行う。					
	法令等根拠		実施形態	内容	補助金申請、実績報告書のみの事務。		
	現在	補助金等交付					

活動指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
※設定困難				目標値					
				実績値			4		
成果指標									
指標名			単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
理事会議等の開催(～2022年度)			回	目標値	12	12			
				実績値	6	11			
計算 根拠				達成率	50	91.7			
				実数値					
社会教育活動等の開催・参加(2023年度～)				目標値			4	4	4
				実績値			4	4	
計算 根拠				達成率			100	100	
				実数値			4	4	
				ランク	C	B	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	500	450	450	450	450		事業タイプ	単独事業
	決算額	435	382	450	450	450		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,755	450
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	450

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☒ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	社会の中核である壮年会の活動を活性化し、市内各壮年会の連携を図り豊かな地域づくりに貢献することを支援する。 また、同協議会が実施している「高齢者宅の大型ごみ回収事業」等については、関係各課との調整を行うなどして、活動拡大の支援を行う。	
来年度へ向けて	R5年度実績 後期高齢者支援事業(高齢者宅の大型ごみ回収事業)や防災危機管理の意識向上、やしきまつりなどを実施して、豊かな地域づくりへの貢献に対して支援した。 R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 後期高齢者支援事業(高齢者宅の大型ごみ回収事業)や防災危機管理の意識向上、やしきまつりなどへの参加協力などを実施し、豊かな地域づくりへの貢献に対する継続的な支援が必要である。	
実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 これまでの活動を踏まえた上で、壮年グループとして、時代に即した多様な取り組みを支援するため事業補助を行っていく。		
R7方向性⇒ 維持		
CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	やっしまつり事業交付金
R5年度 事業名	やっしまつり事業交付金

総合戦略 体系	341	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生きがいづくりと社会参加活動への支援
------------	-----	--------------------------------	------------------	--------------------

P L A N 計 画	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ふれあいの里づくりを醸成するため、“やっしまつり”をとおして地域の活性化を図る。 ・かけがえのないわが街、鯖江を活性化するために昭和49年から鯖江市壮年グループ連絡協議会設立記念行事として開催されている“やっしまつり”をふるさと鯖江の伝統芸能の継承と地域のふれあい交流の場として定着させる。				
	概要	やっしまつりの活動費の交付				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	交付金申請、実績報告書のみの事務。	
	現在	補助金等交付				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	まつりの開催回数		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	-	1	1	1	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	まつりの参加者		人	目標値	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
				実績値	-	2,200	2,200	2,200	
	計算 根拠			達成率	-	100	100	100	
				実数値					
			ランク	-	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,700	2,400	2,400	2,700	2,700		事業タイプ	単独事業
	決算額	0	0	2,400	2,700	2,700		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,755	2,700
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,700

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	本事業は、鯖江市無形民俗文化財の「やんしき踊り」を中心に、市民参加で作り上げるイベントである。本年度は「古町、本町商店街通り」を会場として実施する。各市民団体が協力し、子どもからお年寄りまで楽しめる、事業を支援するために助成を行う。	
来年度へ向けて	令和5年度は新型コロナ拡大防止対策を実施した上で本町商店街通りを会場に実施した。 R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 令和5年度は新型コロナ拡大防止対策を実施した上で古町、本町商店街通りを会場に、ステージ・出店等とやんしき踊りの輪の距離とがより近く、より身近な祭りと感じられるような一体感を醸成することができた。今後も各市民団体が協力し、子どもからお年寄りまで楽しめる、事業実施を支援するために助成が必要である。 実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 これまでの活動を踏まえた上で、時代に即した多様な取り組みを支援するため事業実施を支援するための助成を行っていく。 R7方向性⇒ 維持 CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円): 0	

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	こころの電話相談活動補助金
R5年度 事業名	こころの電話相談活動補助金

総合戦略 体系	341	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生きがいつくりと社会参加活動への支援
------------	-----	--------------------------------	------------------	--------------------

P L A N 計 画	部署名	生涯学習課		開始年度	0	終了年度	9999
	目的	電話による相談事業を通じて、健全な地域づくりに寄与する。					
	概要	こころの電話相談の活動費の補助					
	法令等 根拠		実施 形態	内容	補助金申請、実績報告書のみの事務。		
	現在	補助金等交付					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	研修会の開催		回	目標値	7	7	7	7	7
				実績値	10	8	7	7	
	計算 根拠	2月に1回以上の開催	達成率	142.9	114.3	100	100		
			実数値		8	7	7		
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	45	40	45	45	45		事業タイプ	単独事業
	決算額	45	40	45	45	45		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,755	45
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	45

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	電話による相談事業を通じて、健全な地域づくりに寄与することを支援する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	電話による相談事業を通じて、健全な地域づくりに寄与することを支援するための事業補助を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	新型コロナウイルスの影響により、人と人とのふれあいがなくなり社会的なつながりを持っていない人が出てきている。健全な地域づくりに寄与することを支援するため、継続的な事業補助が必要。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	これまでの活動を踏まえた上で、生活・仕事に関する悩み、対人関係の悩みなど、時代を見据えた活動を支援するため、事業補助を行っていく。
	R7方向性⇒	維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	スカウト協議会活動費補助金
R5年度 事業名	スカウト協議会活動費補助金

総合戦略 体系	341	『幸福寿命』で、さばえる！育てやす い暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生きがいつくりと社会参加活動への支援
------------	-----	------------------------------------	------------------	--------------------

P L A N 計 画	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	ボーイ・ガールスカウトの育成を図り、青少年の健全育成に寄与する。				
	概要	スカウト協議会の活動費の補助				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	補助金申請、実績報告書のみの事務。	
	現在	補助金等交付				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	研修・訓練等事業開催回数		回	目標値	5	5	5	6	6
				実績値	8	11	9	7	
	計算 根拠			達成率	160	220	180	117	
				実数値		5	5	6	
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	90	80	90	90	90		事業タイ	単独事業
	決算額	90	80	90	90	90		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	1	604	社会教育諸団体活動費補助金等	4,755	90
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	90

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) ☐ はい ☒ いいえ			
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) ☒ はい ☐ いいえ			
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) ☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) ☒ ない ☐ ある			
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) ☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) ☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) ☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) ☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	市内青少年がスカウト活動に参加することで健全な育成ができるよう、各団の活動を支援するとともに、各隊指導員の資質向上を図るために事業補助を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	市内青少年がスカウト活動に参加することで健全な育成ができるよう、各団の活動を支援するとともに、各隊指導員の資質向上を図るための事業補助を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	各スカウト隊の指導員の資質向上および時代に即した多様な取り組みを支援するため、継続的な事業補助が必要である。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	これまでの活動を踏まえた上で、子どもたちの好奇心や探求心にこたえる活動を通して、心身ともに健全な人材を育成することを目的としたスカウト活動を支援するため事業補助を行っていく。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	はたちのつどい開催事業費
R5年度事業名	はたちのつどい開催事業費

総合戦略体系	346	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	人づくり、つながりづくりの推進
--------	-----	--------------------------------	------------------	-----------------

PLAN計画	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	はたちの門出を祝福する式典を行い、次代を担う青年の健全育成を図る。				
	概要	次代を担うはたちの門出を祝福するはたちのつどいを、有志による企画・運営にて実施する。				
	法令等根拠		実施形態	内容	有志の実行委員会形式によるはたちのつどいの企画・運営。	
	現在	民間等委託（一部）				

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	実行委員会開催数		回	目標値	6	6	6	6	6
				実績値	6	6	6	7	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	成人式参加者率		%	目標値	80	80	80	80	80
				実績値	77.7	84.6	84	84.1	
	計算 根拠	成人式出席者数／新成人数	達成率	97.1	105.8	105	105.1		
			実数値	626/806	621/734	599/713	613/729		
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク								
	B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,840	1,680	2,251	2,355	2,359		事業タイ	単独事業
	決算額	2,839	1,601	1,989	1,966	1,724		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	1	203	はたちのつどい開催事業費	2,540	2,359
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,359

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	0.4
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ		
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ		
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み		
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある		
合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
12	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
有効性	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	はたちの門出を祝福する式典を行い、次代を担う青年の健全育成を図る。また、有志によるはたちのつどい実行委員会が企画・運営に携わることで「ふるさと鯖江」の再発見につなげる取組とする。 市連合青年団に実行委員会に関わってもらうことで、はたちに連合青年団の活動を理解してもらえるよう支援していく。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	はたちの門出を祝福する式典を文化センターで開催し、次代を担う青年の健全育成を図った。また、自らがはたちのつどい実行委員会のメンバーとなり、企画・運営に携わることで「ふるさと鯖江」の再発見につなげた。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	R5年度は文化センターで1回の開催とした。大きなトラブルもなく、参加者の送迎についても委託業者と連携しながら、スムーズなオペレーションで遂行することができた。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	今回のつどいでは、総勢24人が実行委員として参加し、準備を進めることができたが、年々人材の確保が難しくなっている。参加者の目に留まる広報や募集を行い、つどいをきっかけに地域での青年活動にも広げていきたい。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	青少年健全育成鯖江市民会議事業補助金
R5年度 事業名	青少年健全育成鯖江市民会議事業補助金

総合戦略 体系	346	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	人づくり、つながりづくりの推進
------------	-----	--------------------------------	------------------	-----------------

P L A N 計 画	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	青少年健全育成の持つ重要性に鑑み、市民の総意を結集し、次代を担う青少年の健全な育成を図る。				
	概要	青少年育成等に関係する各種団体の緊密な連携により、全域あけての青少年育成を図り、青少年健全育成の推進に向け、家庭教育啓発機関紙（はぐくみ）の発行を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	補助金申請、事務補助、実績報告書の事務。	
	現在	補助金等交付				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	青少年の健全育成や、非行防止等の活動推進を図る市民大会等の開催（H30年度は県民大会実施）		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	-	1	1	1	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	青少年の健全育成、非行防止等の活動推進を図る市民大会等の参加者数（H30年度は県民大会参加者数）		人	目標値	200	200	200	200	200
				実績値	-	274	250	250	
	計算 根拠	少子化の現状下での参加者数の維持		達成率	-	137	125	125	
				実数値					
				ランク	-	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	3,650	3,200	3,200	3,200	3,650
決算額	3,063	2,050	3,200	3,200	3,650

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	10	5	6	602	青少年育成市民会議等補助金	3,695	3,650
2							
3							
4							
5以降							
						合計	3,650

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員	正規職員	0.4
	会計年度職員	0.2
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	10
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない

有効性

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒ 維持

取組内容

少子高齢化や価値観の多様化など、会員が青少年を取り巻く今日の課題を共有し意識を向上させることにより、青少年に関わる問題について研修会等を開催しながら、それぞれの団体、地域で、青少年の健全育成に取り組むことができるよう情報共有と連携を図っていく。

来年度へ向けて

R5年度の実績

総会や市民大会などを開催するとともに、育成部会、環境浄化部会など各部会においても青少年の健全育成や非行防止等の活動推進を図ることを目的に積極的な活動を実施した。また青少年健全育成の広報活動として、家庭教育啓発紙(はぐくみ)を年2回発行した。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

R4年度に引き続き、若い世代の運営参加や中学生の意見を聞くなどの取組み(シンポジウム)を実施した。また、会員がそれぞれの団体や地域で、青少年の健全育成に取り組むことができるよう、今後も情報共有と連携を図っていきたい。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

これまでの活動を踏まえた上で、青少年健全育成の推進を目的として、時代を見据えた活動を支援するため、事業補助を行っていく。

R7方向性⇒ 維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	少年警察協助力会事業補助金
R5年度 事業名	少年警察協助力会事業補助金

総合戦略 体系	341	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生きがいつくりと社会参加活動への支援
------------	-----	--------------------------------	------------------	--------------------

P L A N 計 画	部署名	生涯学習課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	社会奉仕の精神をもって、少年の非行防止と福祉の増進に努め、世論の啓発により少年の健全育成を図る。				
	概要	少年警察協助力会への活動のための補助金				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	補助金申請、実績報告書のみの事務。	
	現在	補助金等交付				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	少年の非行防止と健全育成を目的とした啓発事業の実施		回	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	13	12	12	12	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	少年の非行防止と健全育成を目的とした行事等の従事者数		人	目標値	20	20	20	20	20
				実績値	27	27	27	27	
	計算 根拠			達成率	135	135	135	135	
				実数値		27	27	27	
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	45	40	45	45	45		事業タイ	単独事業
	決算額	45	40	45	45	45		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	6	602	青少年育成市民会議等補助金	3,695	45
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	45

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	0.1
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
有効性	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	社会奉仕の精神をもって、少年の非行防止と福祉の増進に努め、市民への啓発を通して青少年の健全育成を行っている少年警察協会の活動のための補助を行う。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	自転車防犯診断、補導活動等、市民への啓発を通して青少年の健全育成を行っている少年警察協会の活動補助を行った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	少年の非行を防止し、健全な育成を図るため、非行少年等に対して、継続的な指導・助言を行い、立ち直りを支援している。今後も社会奉仕の精神をもって、少年の非行防止と福祉の増進に努めていく。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	少年の非行防止と福祉の増進や世論の啓発により少年の健全育成を図る活動をしている団体であり、見守り活動や学校などでの自転車防犯診断や街頭補導活動など非常に重要な役割を果たしている。今後も、青少年の健全育成を行っている少年警察協会の活動補助を行っていく。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	放課後子ども教室推進事業
R5年度 事業名	放課後子ども教室推進事業

総合戦略 体系	344	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	--------------------------------	------------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	生涯学習課	開始年度	2007	終了年度	9999
	目的	子どもたちが放課後や休日に安全・安心で健やかに過ごせる居場所づくりを目的とし、地域住民の参画を得て、事業を実施する。また児童館のない地区（片上、豊）の子どもたちが放課後に勉強やスポーツ等に取り組める環境を確保することで、地域の教育力の向上を図る。				
	概要	全ての子どもを対象として、安全・安心な子どもの活動拠点（居場所）を設け、子どもの健全育成を図る。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	放課後子ども教室の企画・運営。	
	現在	市直営				

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	開所公民館数		地区	目標値	10	10	10	10	10
				実績値	10	10	10	10	
	計算 根拠	放課後子ども教室の開所している地区公民館数		達成率	100	100	100	100	
				実数値					
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

事業費

【単位：千円】

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額	6,373	5,685	6,189	6,149	8,126
決算額	3,257	4,287	5,265	4,350	7,532

会計	一般会計
事業タイプ	補助（県）事業
経費区分	物件費

歳出予算

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額（千円）
1	10	5	2	203	放課後子ども教室推進事業費	10,018	7,256
2							
3							
4							
5以降							
						合計	7,256

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額（千円）
1	社会教育活動費補助金（県1/3）	2,370
2		
3		
4		
5以降		
		合計 2,370

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	1
	※所要時間	0

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	11
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない

有効性

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度

R6方向性⇒ 維持

取組内容

地域のボランティアの参画を得て、文部科学省の推進する安全・安心な居場所づくりに努めるとともに、実施内容の充実を図る。

来年度へ向けて

R5年度の実績

各地区公民館において、安全・安心な子どもたちの活動拠点拠点を設け、特色ある活動を実施。地域の参加児童の健全育成を図った。

R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題

継続的なメニューを実施する場合の指導者の確保やボランティアの高齢化が課題となっている。

実績と課題を踏まえたR7年度の変更点

各地区公民館において、安全・安心な子どもたちの活動拠点拠点を設け、特色ある活動を実施。地域の参加児童の健全育成を図る。

R7方向性⇒ 維持

CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	公民館合宿通学事業
R5年度 事業名	公民館合宿通学事業

総合戦略 体系	344	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	--------------------------------	------------------	-----------

P L A N 計 画	部署名	生涯学習課		開始年度	2009	終了年度	9999
	目的	本事業は、児童が学校や家庭を離れ、地域のコミュニティ活動の拠点である地区公民館および市内各所にて、ふるさとやまちづくりの現状に触れることで、教育力の向上を図ることを目的とする。					
	概要	小学校に通学する4年生児童が、学校や家庭を離れて、地区公民館等に宿泊し、集団による共同生活を行いながら学校に通学する経験を通して、さまざまなふれあいやふるさと・まちづくりの現状に触れることで、子どもたちの郷土愛を育むとともに、自主・自立性の向上を図る。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	地域住民による地区実行委員会に業務を委託する。		
	現在	民間等委託（一部）					

D O 実 施	活動指標									
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	学校への説明会議		回	目標値	7	7	7	7	7	
				実績値	7	8	8	8		
	校長会への説明会議		回	目標値	1	1	1	1	1	
				実績値	1	1	1	1		
	成果指標									
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025	
	実施公民館数		館	目標値	7	7	7	7	7	
				実績値	5	9	9	9		
	計算 根拠	合宿通学事業を実施した公民館数		達成率	71.4	128.6	128.6	128.6		
				実数値						
				ランク	C	A	A			
	前年度 ランク B、Cの 理由									

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,386	1,282	1,302	1,302	1,533		事業タイ	補助(県)事業
	決算額	0	453	414	852	1,021		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	2	203	放課後子ども教室推進事業費	10,018	1,533
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,533

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1	社会教育活動費補助金(県1/3)		511	
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	511

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	1.7
	※所要時間	0

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	12
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	コロナ禍から回復している状態ではあるが、合宿通学事業には、多数のボランティアの方の参加が必要となるため、原則宿泊を伴わない事業として実施する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	令和5年度は、1地区(北中山)が1泊2日、8地区(鯖江、新横江、神明、中河、立待、吉川、豊、河和田)が日帰りを実施した。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	5月8日より5類へ移行したことにより、飲食を伴わない半日実施に限定せず、原則日帰りを推奨するものの、地区の判断による宿泊も可とし、宿泊を伴わない公民館学級の形式での事業実施と宿泊を伴う事業実施の形式を混在させながら開催した。地域ボランティアの高齢化などもあり、宿泊での事業継続が難しいとの声が聞こえており、対応が課題。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	各地区で宿泊学習が困難である要因等について、どのように対処すべきか、事業実施についての方向性を示す必要がある。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度 事業名	光でつなぐ家族の絆事業
R5年度 事業名	光でつなぐ家族の絆事業

総合戦略 体系	346	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	人づくり、つながりづくりの推進
------------	-----	--------------------------------	------------------	-----------------

P L A N 計 画	部署名	生涯学習課		開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	青少年健全育成のための環境づくりとして、家庭や家族ふれあいの普及啓発活動等を行うことで次代を担うひとづくりを推進する。					
	概要	「地域や家庭の教育力向上」の推進に向け、親と子の絆を深め、鯖江の未来を担う子どもたちの育成事業の実施に取り組む。市民主役条例に基づき提案型市民主役事業として、光でつなぐ家族の絆（西山公園イルミネーション事業）を行う。					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	市民主役事業提案団体が企画、運営。		
	現在	民間等委託（全部）					

D O 実 施	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	広報誌、HP等でのPR回数		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	2	2	2	2	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	光でつなぐ家族の絆(西山公園イルミネーション事業)応募家族数		組	目標値	50	50	50	50	50
				実績値	50	50	50	50	
	計算 根拠			達成率	100	100	100	100	
				実数値					
				ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額	753	715	740	715	1,096		事業タイプ	単独事業
	決算額	753	715	740	715	1,074		経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	6	201	青少年健全育成諸経費	1,161	1,096
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	1,096

補助金等	No	R6年度補助金等名称		金額(千円)	
	1				
	2				
	3				
	4				
	5以降				
				合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	80

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある

合計 点数	点数区分	次年度方向性の 目安	判定
9	0点～8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点～16点	維持または 事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☒ 向上している ☐ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☒ 目標を達成できている ☐ 進展している ☐ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	提案型市民主役事業で実施している「家族のふれあい光でつなぐ家族の絆(西山公園イルミネーション装飾)事業(R3～R5複数年提案採択事業)」等の実施により、親子の絆を深め、鯖江の未来を担う子どもたちの育成に取り組む。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	「家族のふれあい光でつなぐ家族の絆(西山公園イルミネーション装飾)事業(R3～R5複数年提案採択事業)」を提案型市民主役事業として実施し、西山公園を会場に家族ごとにモニュメントにLEDライトを装飾し、家族の願い事を記入した短冊をつけ、10/31～12/26までの期間、中央広場付近に展示することで、親子の絆を深め鯖江の未来を担う子どもたちの育成に取り組んだ。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	既に西山公園の冬の風物詩となっているこのイルミネーションについて、教育委員会として青少年健全育成の枠を超えて、観光的な視点も含めて実施することを所管換えを含め検討する余地がある。例年実施する事業展開の中で、コスト削減できる工夫がないかを検討する必要がある。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	今後も提案型市民主役事業として実施することで、親子の絆を深め鯖江の未来を担う子どもたちの育成に取り組んでいくとともに、委託業者と事業展開について検討していく。
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	実施	実施	実施	実施	未実施

R6年度事業名	光でつなぐ家族の絆事業
市民主役事業にかかる額(単位千円):	1,096
R7年度事業名	光でつなぐ家族の絆事業
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	町内公民館連絡協議会補助金
R5年度 事業名	

総合戦略 体系	341	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	すべての人が健康で生涯青春のまち	生きがいつくりと社会参加活動への支援
------------	-----	--------------------------------	------------------	--------------------

PLAN 計画	部署名	生涯学習課		開始年度	1983	終了年度	9999
	目的	市内の町内公民館および公民館活動の拠点施設相互の連絡調整を図り、あわせて生涯学習の振興に寄与する					
	概要	市内の町内公民館および町内活動の拠点施設において、相互の連絡調整を図りあわせて生涯学習の振興に寄与する事業実施に対する補助					
	法令等 根拠		実施 形態	内 容			
	現在						

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	町内公民館に資する活動助成地区数		地区	目標値	10	10	10	10	
				実績値	10	10	10	10	
	計算 根拠			達成率	100	100	100	100	
				実数値					
				ランク			A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

DO実施

事業費	区分	2020	2021	2022	2023	2024	タイプ	会計	一般会計
	予算額					387		事業タイプ	単独事業
	決算額					387		経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	10	5	1	603			387
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	387

補助金等	No	R6年度補助金等名称			金額(千円)	
	1					
	2					
	3					
	4					
	5以降					
					合計	0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	

CHECK評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☐ 増加する見込み ☒ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☐ ない ☒ ある
合計 点数	7
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	事務改善または 廃止・休止

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	☐ 目標を達成できている ☐ 進展している ☒ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	助成金を活用した生涯学習講座の実施や納涼祭等のイベントの開催など、各施設での特色ある活動の情報提供を行いながら、市内全域において、地域づくりの研究推進をサポートを実施する。	

来年度へ向けて	R5年度の実績	各地区町内公民館長を幹事とした幹事会を開催するとともに、各地区の代表を集めた代議員会および研修会を開催。市内町内公民館および公民館活動の拠点施設相互の連絡調整を図った。
	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題	助成金を活用した生涯学習講座の実施や納涼祭等のイベントの開催など、各施設での特色ある活動の情報提供を行いながら、市内全域において、地域づくりの研究推進をサポートしてきたが、今後の協議会のあり方について議論を続けている。
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点	これまでの活動を踏まえた上で、市内町内公民館にて生涯学習の振興に寄与することを目的として、時代を見据えた活動を支援するため、事業補助を行っていく。
	R7方向性⇒	廃止
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】					
年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択				不可能	不可能
実施状況				未実施	未実施

R6年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R7年度事業名	
市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R6年度 事業名	自転車ヘルメット購入助成金
R5年度 事業名	

総合戦略 体系	354	『幸福寿命』で、さばえる！育てやすい暮らしやすいまちをつくる	誰もが自分らしく安心して暮らせるまち	交通安全の推進
------------	-----	--------------------------------	--------------------	---------

P L A N 計 画	部署名	生涯学習課	開始年度	2023	終了年度	9999
	目的	令和5年4月1日からの改正道路交通法施行により、自転車運転者のヘルメット着用が努力義務化された中、特にヘルメットの着用率の低い高校生および中学3年生を対象に購入費用を補助することによりヘルメット着用率向上を目指す。				
	概要	市内に住民登録がある中学3年生および高校生に対し、安全基準を満たした税込3千円以上の新品の自転車用ヘルメットの購入に対し、1千円の助成を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容		
	現在					

	活動指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	市内協力店舗数		店舗	目標値			8	8	8
				実績値			8	8	
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2021	2022	2023	2024	2025
	購入補助者数		人	目標値			840	840	840
				実績値			16	59	
	計算根拠	補助対象者約2,800名(1学年約700名×4学年)の3割	達成率			1.9	7		
			実数値						
					ランク			C	
	前年度 ランク B、Cの 理由	10月から事業実施し、学校へのチラシ持ち込みや街頭でのチラシの配布、メディア等での記事掲載等を行なったが、助成対象者層に非着用時の危険性を伝えることができなかった。							

事業費

区分	2020	2021	2022	2023	2024
予算額					900
決算額					59

タイプ

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	補助費等

【単位：千円】

No	款	項	目	事業	R6年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	10	5	6	603	自転車ヘルメット購入助成金	900	900
2							
3							
4							
5以降							
						合計	900

補助金等

No	R6年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

事業要員

正規職員	0.25
会計年度職員	0
※所要時間	

CHECK 評価

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	☐ はい ☒ いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	☒ はい ☐ いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	☒ 増加する見込み ☐ 横ばい ☐ 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	☒ ない ☐ ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	☐ 節減できている ☒ 横ばい ☐ 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	☐ 向上している ☒ 横ばい ☐ 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	☐ いる ☒ いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	☒ いる ☐ いない
有効性	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)
	☐ 目標を達成できている ☐ 進展している ☒ 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R6方向性⇒	維持
取組内容	市内に住民登録がある中学3年生および高校生に対し、安全基準を満たした税込3千円以上の新品の自転車用ヘルメットの購入に対し、1千円の助成を行う。	
来年度の実績	活動指標である市内協力店舗数の目標は100%達成したが、成果指標である補助対象者の3割相当の助成実施については目標比1.9%と低調に終わった。	
来年度へ向けて	R5年度実績とR6年度の経過を踏まえた課題 R5年度の申請実績は15件。申請件数を増やすため、鯖江青少年健全育成市民会議や鯖江警察署等、青少年健全育成関係団体と、強く連携し、告知をする必要がある。	
	実績と課題を踏まえたR7年度の変更点 助成対象者層に非着用時の危険性が上手く伝えることができなかったため、啓発告知を工夫して実施したい。	
	R7方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR7年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2021	2022	2023	2024	2025
取組選択				不可能	不可能
実施状況				未実施	未実施

R6年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

R7年度事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒